

第16回日本良導絡自律神経学会近畿支部講習会開催報告

広報部長 大津智昭

第16回日本良導絡自律神経学会近畿支部講習会の第2講座が、5月14日(日)午後にSMG大阪 6階(地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅4番出口前すぐ)にて開催されました。

初心者講座(測定・治療) 12時:30分～12時:55分

良導絡の初心者を対象に、測定を吉備 登良導絡専門師(支部会長)、治療を森 正祐良導絡認定師(支部学術部長)がノイロメーターの使い方や測定部位、測定方法、専用カルテの書き方など実技を交えて講義と実演を行いました。

良導絡基礎実技(測定編)13時00分～14時30分

良導絡の歴史や理論、実技では良導絡代表測定点や興抑点の取り方について、松本佳之良導絡認定師(鍼灸院よつば堂院長・支部広報)が講演を行いました。



良導絡代表測定点の測定



松本佳之良導絡認定師

消化器疾患(肝胆脾)の鍼灸治療14時40分～16時10分

松浦穰士先生(関西医療大学非常勤講師・松浦鍼灸大学堂院長)が、消化器疾患の治療経穴や鍼灸実技や臓器の位置などについて、身体に水生ペンで実際に描きながら講演および実技を行いました。



松浦 穰士先生の実技風景



肋骨弓・消化器などの投影描写